

仲間と息合わせ力漕



出場後に満面の笑みを見せるDef・ちゅら海のメンバーら
＝1日、うるま市の屋慶名港

ちゅら海は聴覚障がい者7人、健聴者3人で構成。ハリーは通常こぐリズムをそろえるため掛け声を上げるが、音でリズムをとるのが難しい彼らは先頭の動きを見て合わせた。本番前の練習会にも参加し、当日は対戦相手に1分近く差を付け3分30秒でゴールした。呼び掛け人の島袋恵さん(47)「うるま市」はこれまで回数、健聴者に交じって参加したことがある。今回は県外からも難聴の友人が駆け付けた。「良い経験になった。もっと練習して強くなりたい」と笑顔を見せた。

屋慶名ハリー

聴覚障がい者チーム

初参加に笑顔

【うるま】うるま市の屋慶名港内で1日に開かれた屋慶名ハリー大会に、聴覚障がい者ら10人でつくるチーム「Def・ちゅら海」が初出場した。同大会に聴覚障がい者のチームが出場するのは初めて。県内でも難聴者同士でチームをつくり出場するのは珍しいという。メンバーは「とっても楽しかった」と満面の笑顔を見せた。

呼び掛けに応じて初参加した吉田裕史さん(34)「沖繩市」は「ろうの生活では団体行動のときは周りの動きに合わせるのが当たり前。ハリーでも同じ。聴覚障がい者でも、やればみんなできると思う」と力強く話した。同大会には36チームが出場。優勝は沖繩海運産業(2分34秒)、準優勝はヒヤムジャシンカ(2分42秒)、3位は屋慶名青年会(2分57秒)。子ども相撲や角力大会もあった。(大城和賀子)

(2012年7月 5日 22面)

☆難聴者にとってどの部分が難しく、それをどんな工夫で克服しましたか？

☆この記事を読んで、あなたが考えたことを書いてみよう。

年 組 名前